

平成22年度 自己評価結果公表シート

学校法人 八王山学園
あすなろ幼稚園

当園ではこの度、平成22年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの自己評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この自己評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

他者との関わり合いの中で、存分に自己発揮し、自己充実していく体験を通し、一人ひとりの遊ぶ力を育むことで、表現力や人と関わる力、主体性や社会性など、生きる力を育てる。

II. 今年度の重点目標

- 環境の変化に主体的に関わる
- 評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組む

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 教育方針・目標	教育方針・目標は、園の特色を生かしたものにしているか	A ・子どもたちが主となり生活し、その時期・その個人に応じた自分らしさ・良いところを伸ばすように配慮している。 ・一つ一つの活動に対して、子どもたち一人一人が楽しめるよう目標・計画を立てている。 ・今後も、子どもたち一人ひとりが、様々な経験・体験から学べるように、様々な方向からのねらい・活動を検討していく。
2 指導計画の作成と評価	個々の行事について、幼児の発達を考えながら実施し、子どもの実態やねらい等について教職員と話し合い、見直しを行っているか	A ・行事前に学年ごとで話し合いを行い“ねらい”を明確にしてから、行事に臨むよう取り組んでいる。 ・季節に合った行事を企画し、年齢などを考慮して、適した活動になるよう変化をつけて実施している。 ・今後も、行事の内容に変化をつけたり、新しいことを考えていくよう取り組む。 ・反省ノートを、次に見る時に分かりやすい書き方で残すなど心がけて、次に生かすよう工夫する。
3 教育環境の構成	幼児を温かく受け入れる環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか	A ・新入園児も、すぐに新しい環境に慣れることができるよう家庭の延長と、少人数のクラスとなっている。 ・学年でワークショップを行ったり、一緒に食事をとるなど、クラスを越えて、色々な友だちと関われるようにしている。 ・園内だけでなく、様々な環境で様々な人たちと関われる機会の設定を検討していく。 ・今後も学年を越えた関わりができる環境を大切にしていく。

平成22年度 自己評価結果公表シート

学校法人 八王山学園
あすなる幼稚園

評価項目	取組み内容	取組み状況
4 幼児のみとりと理解	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか	A <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の「話したい」「聞いてほしい」という気持ちを受け止めていけるよう心掛けている。また、幼児の表情などからちょっとした変化に気づくことができるよう努めている。 ・担任以外の先生も他の部屋を回って子ども達の中に入って、気付いたことがあればその状況を伝えるようにしている。 ・今後も、担任以外の先生が積極的に関わりを持てるよう、様々なアプローチができるよう検討していく。
5 教職員同士の協力・連携	幼児のことについて常に教職員間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有しているか	A <ul style="list-style-type: none"> ・その日の出来事や報告事項を、保育終了後に職員同士で伝え合い、クラスや学年をこえて情報を共有している。また、反省点なども報告・共有して今後に生かしていけるよう取り組んでいる。 ・朝の集まり、帰りの集まりと、一日2度全体の話し合いの設定している。また、参加できない先生も情報共有できるように一つのファイルを作りチェックできる仕組みにしている。 ・学年ごとで話し合う機会を設定し、情報の共有や、気になることの相談・アドバイス等を行える体制を整えている。
6 研修・研究への意欲・態度	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行い、そこで得た悩みや学びを他の教師や主任、園長と話し合うことができるか	A <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、一日の活動・子どもの様子・反省を検討し、週案に記入し確認している。 ・学年や他の先生、園長先生に相談し、アドバイスを受ける体制が整っている。
7 安全への配慮	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っているか	A <ul style="list-style-type: none"> ・年長、年中、年少部屋に、それぞれの成長に合わせた環境（ロフト・畳・じゅうたん等）があり、年少児が年長児の部屋で遊ぶ時には、担任が安全な遊び方ができるよう声かけしている。 ・自分で危険を察知できるように、年少→年中→年長と学年が上がる毎に保育者も関わり方を変えたり、外を歩くことを通して社会のルールを身につけられるよう取り組んでいる。
8 安全管理体制の整備	緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるよう取り組んでいるか	A <ul style="list-style-type: none"> ・バスの事故発生時等の対応手順をマニュアル化し、全教職員が理解できるようにしている。 ・ケガの対応については、その都度、報告する機会を設けている。 ・救命救急の講習を受講できる機会を設け、更新の講習も受けている。
9 情報の発信と受信	日々の保育の様子はHP上のブログにてお伝えし、個々の子どもの様子は、直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っているか	A <ul style="list-style-type: none"> ・ブログ、クラスだより、連絡帳、電話を用いて、適宜お伝えしている。また、保育参加を行うなど、日頃の保育を知って頂く機会を設けている。 ・今後も、クラスだよりについて、クラス担任だからこそ伝えられるエピソードなども充実させていく。
10 情報の発信と受信	保育中のけがや病気は、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因を説明の上、通院するなどの対処をしているか	A <ul style="list-style-type: none"> ・ケガが発生した場合、園長と相談するとともに保護者に連絡し、必要があれば医療機関に連れていくようにしている。また、子どもが家に帰ってから様子を見よう努めている。 ・今後も、他クラスの出来事にも連携をとることを大切にしながらかつていく。
11 地域への開放と支援	園がもつ専門的な技術や情報、環境・設備等を、地域に開放・提供し、子育て支援に取り組んでいるか	A <ul style="list-style-type: none"> ・月に2度、よちよち広場として公開し、親同士が交流できる場や保育者と関わる場を提供している。また、保育相談も在園児に拘らず行っている。 ・清掃車のイベントや、環境学習を通じて地域の方と交流をとっている。 ・よちよち広場の内容の更なる充実を検討する。 ・園行事の時に、地域の方々にも参加して頂けるよう検討していく。 ・今後も未収園児と遊び・関わる機会の充実を検討していく。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

平成22年度 自己評価結果公表シート

学校法人 八王山学園
あすなる幼稚園

IV. 今後取り組むべき課題

1	園の方針・想いの共通理解を深める	園の方針・想いを全教職員で再確認し、共通理解を深める機会を設定する。
2	教育環境・活動の充実	個々の子ども達が、様々な経験・体験から学べる（自分で考える力、生きる力等）ように、様々な方向からのねらい・活動内容を検討し、さらなる教育活動の充実をはかる。
3		日常の中などで、学年を越えた子ども達の関わりの機会・環境を充実させる。
4	行事内容の充実	行事後の反省ノートを、次に生かせるようさらに工夫する（改善点等を分かりやすく記載する等）とともに、行事の内容に変化をつけるなど、新しい活動を検討する。
5	教職員間の協力・連携体制の強化	担任以外の先生（他クラス・フリーの先生、音楽・体育専門の先生等）が、園児と自然に関わることができる機会・環境を充実させるとともに、教師同士が意見（良いと思う事・気になる事等）を積極的に言い合える環境作りに努める。
6	安全管理体制の強化	災害（地震）発生時対応マニュアルを見直し・整備し、教職員間で周知徹底をはかる。
7	保護者との連携の強化	クラスだよりについて、クラス担任だからこそ伝えられるエピソードなどを充実させ、保護者の方との共通理解をさらに深めるよう取り組む。
8		保護者の方による「保育者体験」を実施し、お互いの視野を広め、理解を深め合えるよう取り組む。
9	地域との関わり・連携の強化	よちよち広場（園舎・園庭開放等）の内容の充実を検討し、園と利用者の方々との共通理解をさらに深めるよう取り組む。（保育に関する情報提供、相互コミュニケーションの機会の充実など）
10		地域の方々・団体等と園児との関わりの機会を充実させる。（小学校、老人ホームとの交流・連携など）